

平成 22 年度病害虫発生予察指導情報

対象病害虫：ナシ・ニセナシサビダニ（No. 4）

平成 22 年 6 月 24 日
鳥取県病害虫防除所

1. 情報の内容

6 月下旬現在、ニセナシサビダニは平年並の発生密度となっている。

2. 情報の根拠

- (1) 6 月下旬現在、県予察ほ場におけるニセナシサビダニの葉当たり個体数は 898.8 頭（平年：958.0 頭）で、平年並の発生密度となっている（表 1）。
- (2) これまでの発生推移から、7 月上旬頃まで密度は増加するものと予想される。

表 1 ニセナシサビダニの発消長（園芸試験場）

月・旬	本年	平年
5・上	0.2	0.4
5・中	0	40.1
5・下	0.2	169.8
6・上	10.0	713.7
6・中	937.2	840.5
6・下	898.8	958.0

注) 殺ダニ剤無散布ほ場、1 葉当たり寄生個体数

3. 防除上注意すべき事項

第 2 回目の防除時期は、6 月下旬頃を目安とする。薬剤はハチハチフロアブル 2,000 倍液などを使用し、本種が寄生している新梢先端部に薬液が十分付着するように散布する。

（参考）

表 2 ニセナシサビダニの発消長（体系別）

月・旬	生育期 防除体系*	休眠期 防除体系**
5・上	0	0
5・中	0	0
5・下	0	0
6・上	0.2	0.6
6・中	15.2	104.4
6・下	2.8	748.8

*春のマシン油散布なし、5 月 28 日、6 月 16 日にハチハチフロアブル 2,000 倍液散布

** 3 月 17 日にハーベストオイル 50 倍液散布、その後無散布

生育期防除体系区（5 月下旬、6 月中旬防除）におけるニセナシサビダニの発生密度は低く、休眠期防除体系区（3 月下旬防除）は無防除区とほぼ同等の密度となった。